



2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

2023年2月10日

石油資源開発株式会社
(証券コード：1662)

目次

I. 業績ハイライト

II. 2023年3月期 第3四半期決算の概要

III. 2023年3月期 業績予想の概要

※本資料は2023年2月13日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

I. 業績ハイライト

II. 2023年3月期 第3四半期決算の概要

III. 2023年3月期 業績予想の概要

業績ハイライト

23年3月期 第3四半期決算（前年同期比）

単位：億円	22/3月期 3Q (a)	23/3月期 3Q (a)	比較増減
営業利益	116	387	+270
経常利益	245	578	+333
親会社株主に帰属する四半期純利益	△850	432	+1,283

- **営業利益**：原油・天然ガス・電力販売価格の上昇などにより増益（+）
- **経常利益**：LNG取引にかかるデリバティブ利益の計上などにより増益（+）
- **当期純損益**：カナダ2案件の当社参画終了にともなう特別損失（22/3月期）の剥落により増益（+）

23年3月期 業績予想修正（11/10公表予想比）

単位：億円	11/10公表予想 (f)	2/10公表予想 (f)	比較増減
営業利益	452	612	+160
経常利益	669	789	+120
親会社株主に帰属する当期純利益	530	600	+70

- **営業利益**：原油・天然ガス・電力販売価格の上昇による収支上振れを見込む（+）
- **経常利益**：為替差益の減少などを見込む（-）

株主還元

- 1株当たりの期末配当予想を180円（年間合計330円）に修正 ※ 連結配当性向30%に基づく修正

I. 業績ハイライト

II. 2023年3月期 第3四半期決算の概要

III. 2023年3月期 業績予想の概要

決算概要【前年同期比】

単位：百万円	22/3月期 3Q (a)	23/3月期 3Q (a)	増減	
売上高	171,364	225,105	+53,740	+31%
売上総利益	34,511	63,888	+29,377	+85%
営業利益	11,649	38,742	+27,093	+233%
経常利益	24,533	57,878	+33,345	+136%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 85,057	43,286	+128,344	-%

原油価格・為替・販売価格の実績

		22/3月期 3Q (a)	23/3月期 3Q (a)	増減
WTI*	USD/bbl	64.06	98.27	+34.21
原油CIF(JCC)	USD/bbl	70.28	106.81	+36.53
為替	円/USD	109.96	132.69	+22.73

* 22/3月期 3QはJapan Canada Oil Sands Limitedによる希釈ピチューメン販売（2021年1～8月の8か月分）にかかるWTI平均値

E&P事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 3Q (a)		23/3月期 3Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	54,560	-	35,902	-	-	△ 18,657	△34%

(内訳)

原油	千KL	421	22,241	402	35,672	△18	△4%	+13,431	+60%
- 国産原油		218	11,073	173	15,964	△44	△20%	① +4,891	+44%
- 海外原油*1		184	10,158	213	18,283	② +29	+16%	+8,125	+80%
- 買入原油		19	1,009	15	1,424	△4	△22%	+414	+41%
希釈ビチューメン*2		959	31,121	-	-	③ △959	-	△31,121	-
天然ガス・海外販売*3	百万M3	129	1,197	5	230	④ △124	△96%	△967	△81%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②販売価格の上昇、アメリカ タイトオイルの販売数量の増加
- ③カナダ・オイルサンドプロジェクトへの参画終了による販売量の剥落
- ④カナダ・シェールガスプロジェクトへの参画終了による販売量の減少

*1 22/3月期3Qは海外連結子会社 株式会社ジャバックスグラフ、JAPEX Montney LtdおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期3Qは株式会社ジャバックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 22/3月期3Qは海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp. の数値、23/3月期3QはJapex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 3Q (a)		23/3月期 3Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	79,165	-	141,748	-	-	+62,583	+79%

(内訳)

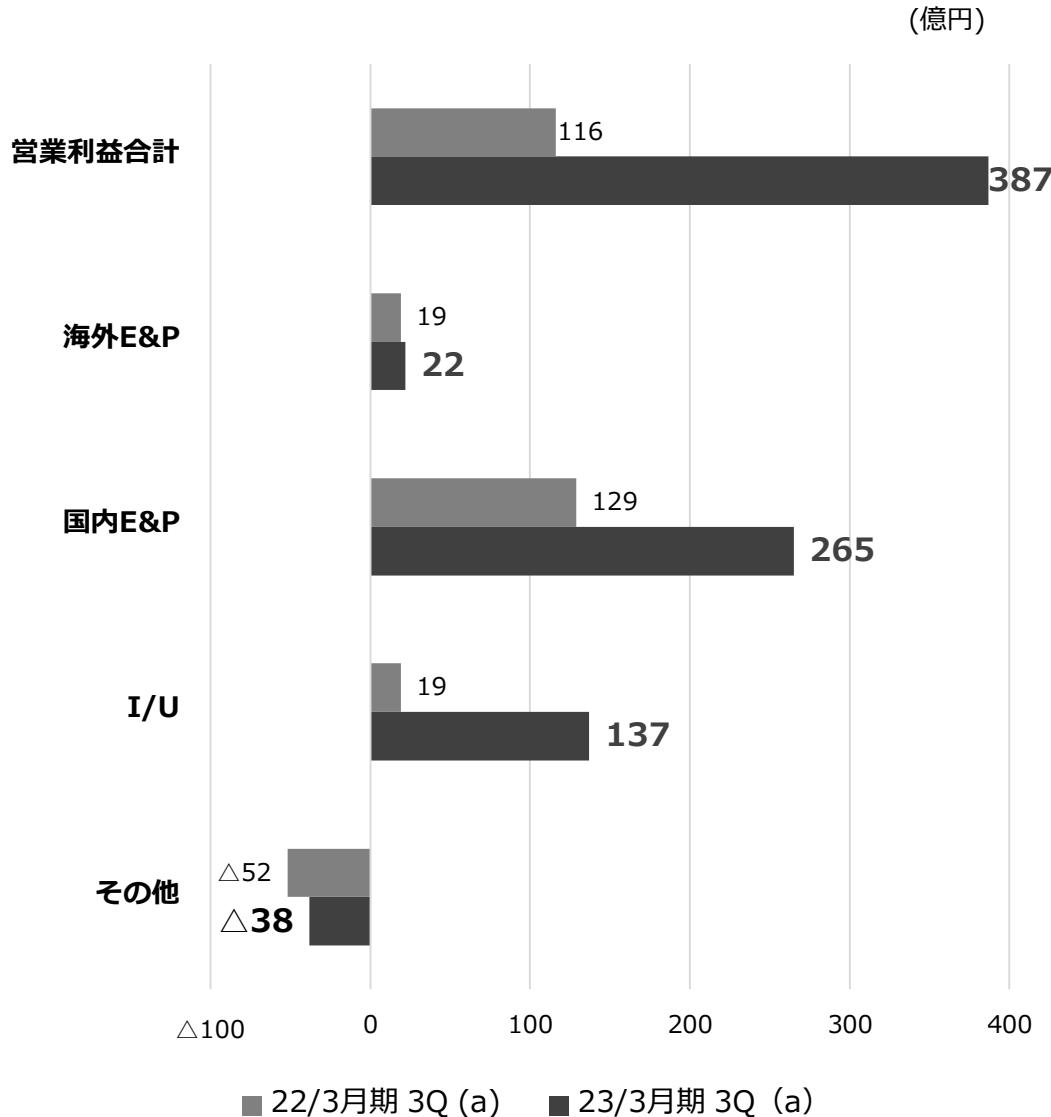
天然ガス・国内販売	百万M3	727	36,135	692	62,625	△35	△5%	① +26,490	+73%
- 国産天然ガス		368	-	324	-	△44	△12%	-	-
液化天然ガス	千トン	217	16,822	213	34,877	△4	△2%	② +18,055	+107%
電力	百万kWh	2,241	22,656	2,146	40,843	△94	△4%	③ +18,187	+80%
その他*	-	-	3,550	-	3,400	-	-	△149	△4%

主な増減要因

- ①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇
- ③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益概要【前年同期比】



E&P事業

(海外) : +3億円 (19億円 → 22億円)

- アメリカ タイトオイルの販売量増加および販売価格上昇 (+)
- 前期希釈ピチューメン販売量の剥落 (-)

(国内) : +136億円 (129億円 → 265億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇 (+)
- JLC上昇による国産天然ガス販売価格*上昇 (+)

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

+117億円 (19億円 → 137億円)

- LNG調達差益の増加 (+)
- 電力販売の価格上昇 (+)

その他※

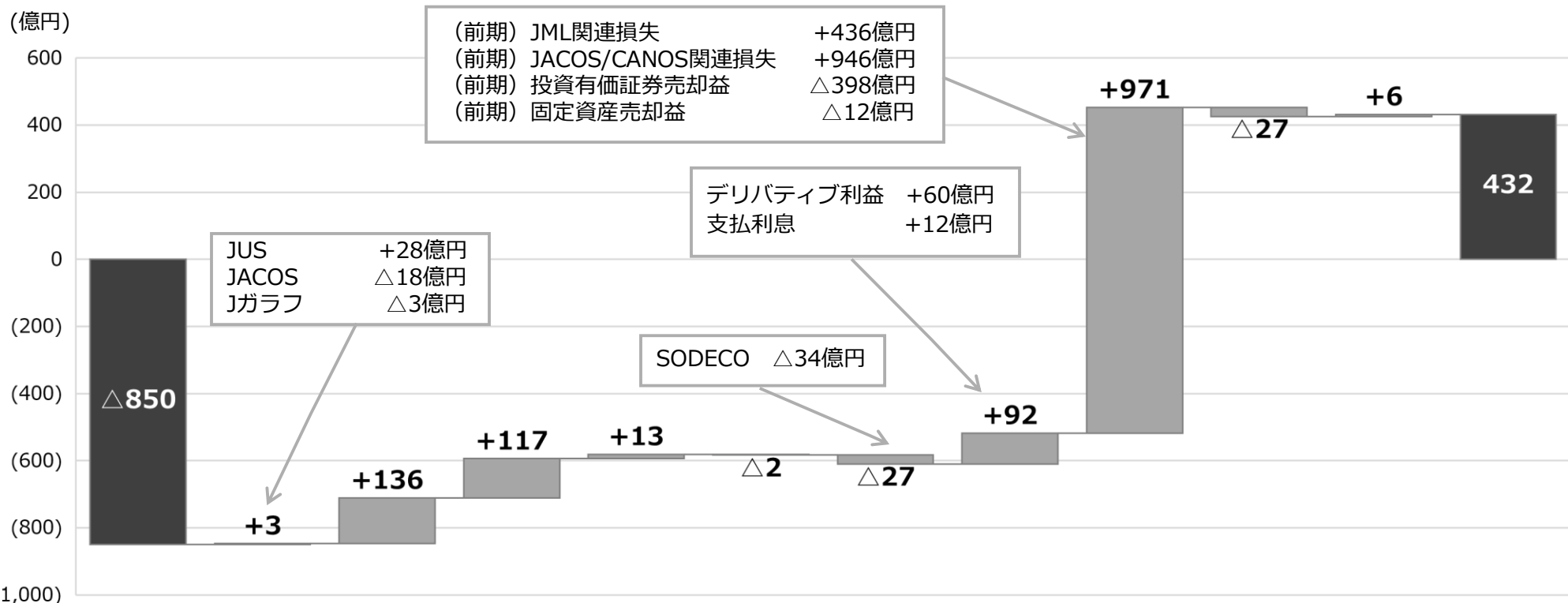
+13億円 (△52億円 → △38億円)

- 請負事業の増益など (+)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前年同期比】



純利益	営業利益* +270億円				営業外損益 +62億円				純利益		
-----	--------------	--	--	--	-------------	--	--	--	-----	--	--

22/3月期 3Q (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配 株主利益	23/3月期 3Q (a)
22/3月期 3Q (a)	19	129	19	△52	51	94	△16	△971	107	17	
23/3月期 3Q (a)	22	265	137	△38	48	67	75	△0	134	10	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

-
- I. 業績ハイライト
 - II. 2023年3月期 第3四半期決算の概要
 - III. 2023年3月期 業績予想の概要

業績予想修正【11.10公表予想比】

単位：百万円	前回予想 (f) 11.10公表	今回予想 (f) 2.10公表	増減	
売上高	304,563	326,679	+22,116	+7%
売上総利益	77,174	95,779	+18,605	+24%
営業利益	45,242	61,250	+16,008	+35%
経常利益	66,951	78,964	+12,013	+18%
親会社株主に帰属する当期純利益	53,000	60,000	+7,000	+13%

原油価格・為替の前提

		前回予想 (f) 11.10公表	今回予想 (f) 2.10公表	増減
WTI	USD/bbl	94.33	94.42	+0.09
原油CIF(JCC)	USD/bbl	93.04	96.24	+3.20
為替	円/USD	128.59	132.13	+3.54

E&P事業 販売予想修正【11.10公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 11.10公表		今回予想 (f) 2.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	51,167	-	53,471	-	-	+2,304	+5%

(内訳)

原油	千KL	703	50,853	700	53,101	△2	△0%	+2,248	+4%
- 国産原油		242	19,250	243	20,452	+1	+0%	① +1,201	+6%
- 海外原油*1		439	29,896	436	30,872	△3	△1%	② +976	+3%
- 買入原油		20	1,706	20	1,776	△0	△2%	+70	+4%
天然ガス・海外販売*2	百万M3	13	314	12	370	△1	△9%	+55	+18%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②アメリカタイトオイル 販売価格の上昇

*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【11.10公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 11.10公表		今回予想 (f) 2.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	191,034	-	208,087	-	-	+17,052	+9%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,012	89,894	999	97,084	△12	△1%	① +7,190	+8%
- 国産天然ガス		483	-	470	-	△12	△3%	-	-
液化天然ガス	千トン	349	41,804	344	48,752	△5	△1%	② +6,948	+17%
電力	百万kWh	3,031	53,304	2,925	56,467	△106	△3%	③ +3,163	+6%
その他*	-	-	6,032	-	5,781	-	-	△250	△4%

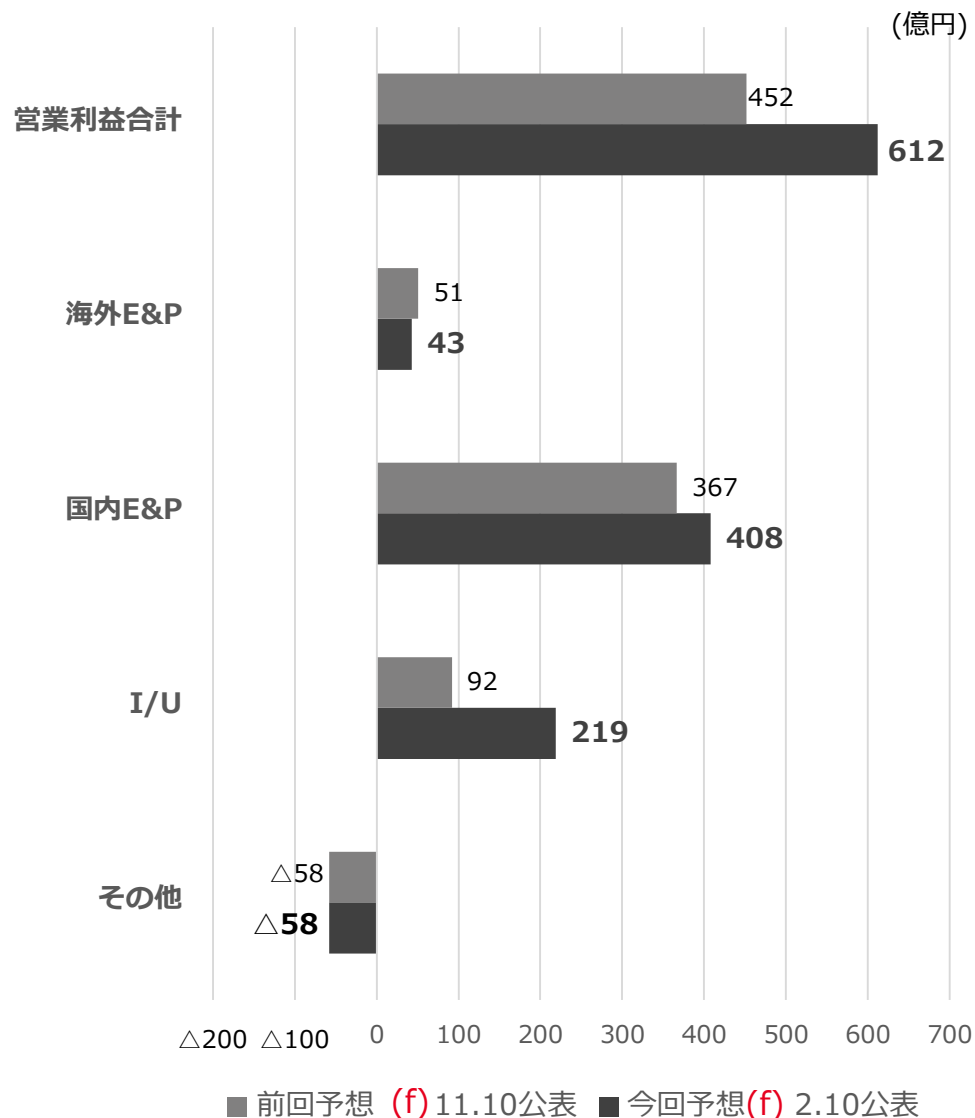
主な増減要因

①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇

③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益概要【11.10公表予想比】



E&P事業

(海外) : △7億円 (51億円 → 43億円)

- 子会社Jガラフにおける営業費用の増加 (-)

(国内) : +40億円 (367億円 → 408億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇 (+)
- JLC上昇による国産天然ガス販売価格*上昇 (+)

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

+126億円 (92億円 → 219億円)

- JLC上昇によるLNG調達差益の拡大 (+)
- 前回予想に織り込んだLNGスポット調達の可能性に備えた追加コスト (50億円) 剥落 (+)

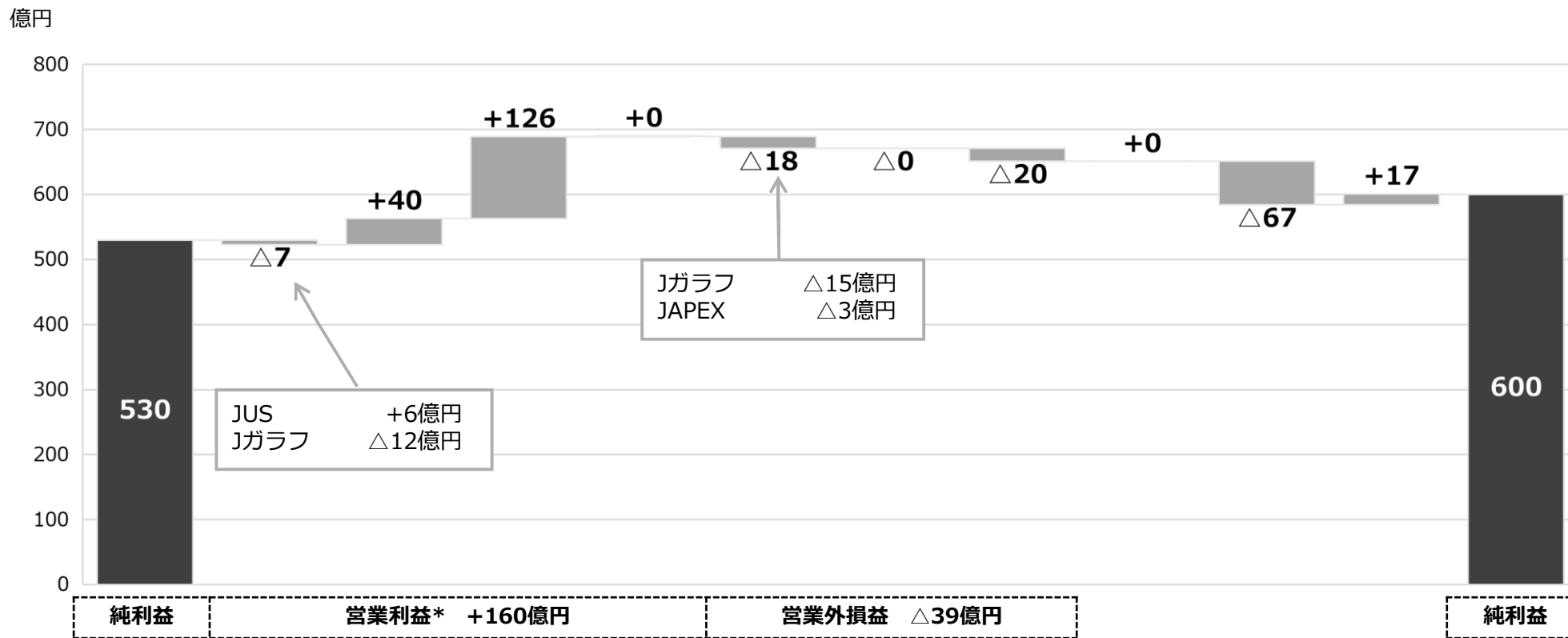
その他*

+0億円 (△58億円 → △58億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【11.10公表予想比】



JUS +6億円
Jガラフ △12億円

Jガラフ △15億円
JAPEX △3億円

前予想 (f) 11.10公表	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	今回予想 (f) 2.10公表
530	51	367	92	△58	60	63	92	△0	110	28	600
600	43	408	219	△58	41	62	72	△0	178	11	600

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

業績予想【前期比】

単位：百万円	22/3月期 (a)	23/3月期 (f) 2.10公表	増減	
売上高	249,140	326,679	+77,538	+31%
売上総利益	49,903	95,779	+45,876	+92%
営業利益	19,809	61,250	+41,441	+209%
経常利益	43,674	78,964	+35,290	+81%
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失 (△)	△30,988	60,000	+90,988	-

原油価格・為替の前提

		22/3月期 (a)	23/3月期 (f) 2.10公表	増減
WTI *	USD/bbl	64.06	94.42	+30.36
原油CIF(JCC)	USD/bbl	73.28	96.24	+22.96
為替	円/USD	111.20	132.13	+20.93

* 22/3月期はJapan Canada Oil Sands Limitedによる希釈ピチューメン販売（2021年1～8月の8か月分）にかかるWTI平均値

E&P事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 (a)		23/3月期 (f) 2.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	73,422	-	53,471	-	-	△ 19,950	△27%

(内訳)

商品	販売量単位	22/3月期 (a)	23/3月期 (f) 2.10公表	増減
原油	千KL	669	41,056	+30 +5%
- 国産原油		286	15,570	△43 △15%
- 海外原油* ¹		357	24,105	② +79 +22%
- 買入原油		25	1,381	△5 △20%
希釈ビチューメン* ²		959	31,121	③ △959 -
天然ガス・海外販売* ³	百万M3	130	1,244	④ △118 △91%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②アメリカ タイトオイル販売量の増加および販売価格の上昇
- ③カナダ・オイルサンドプロジェクトへの参画終了による販売量の剥落
- ④カナダ・シェールガスプロジェクトへの参画終了による販売量の減少

*1 22/3月期は海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney LtdおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期は株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティ控除後の数値

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp. の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 (a)		23/3月期 (f) 2.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	119,845	-	208,087	-	-	+88,242	+74%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,061	58,024	999	97,084	△61	△6%	① +39,060	+67%
- 国産天然ガス		527	-	470	-	△56	△11%	-	-
液化天然ガス	千トン	295	22,596	344	48,752	② +48	+16%	+26,156	+116%
電力	百万kWh	3,023	34,320	2,925	56,467	△98	△3%	③ +22,146	+65%
その他*	-	-	4,903	-	5,781	-	-	+878	+18%

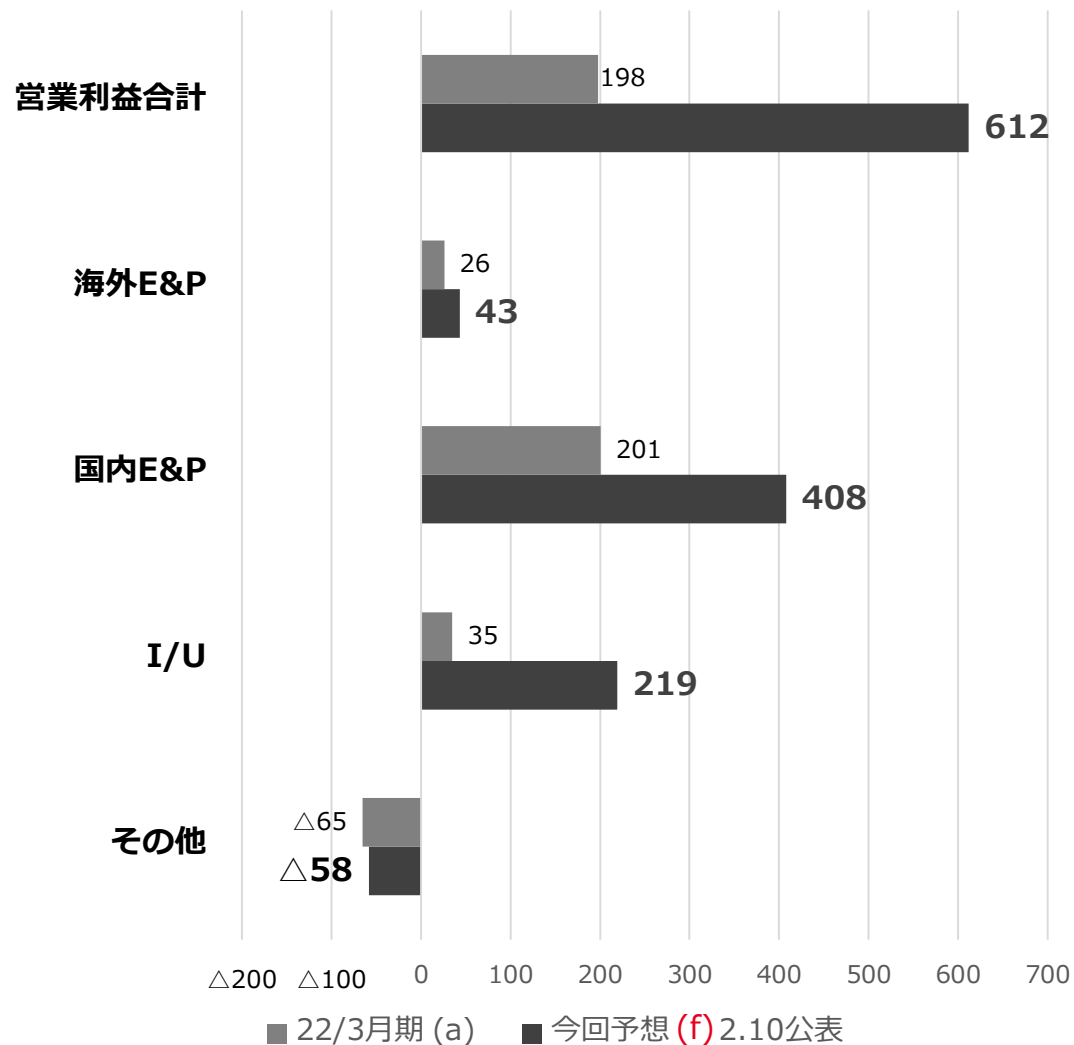
主な増減要因

- ①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇、LNG販売量の増加
- ③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

業績予想 営業利益概要【前期比】

(億円)



E&P事業

(海外) : +16億円 (26億円 → 43億円)

- アメリカ タイトオイルの销售量増加および販売価格の上昇 (+)
- 前期希釈ビチューメン销售量の剥落 (-)

(国内) : +206億円 (201億円 → 408億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇 (+)
- JLC上昇に伴う国産天然ガス販売価格*上昇 (+)

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

+183億円 (35億円 → 219億円)

- LNG調達差益の増加など (+)
 - ✓ 前期の一過性要因 (LNG調達先のトラブルによる代替スポット調達によるコスト増加) の剥落 (+)
- 電力販売の価格上昇 (+)

その他※

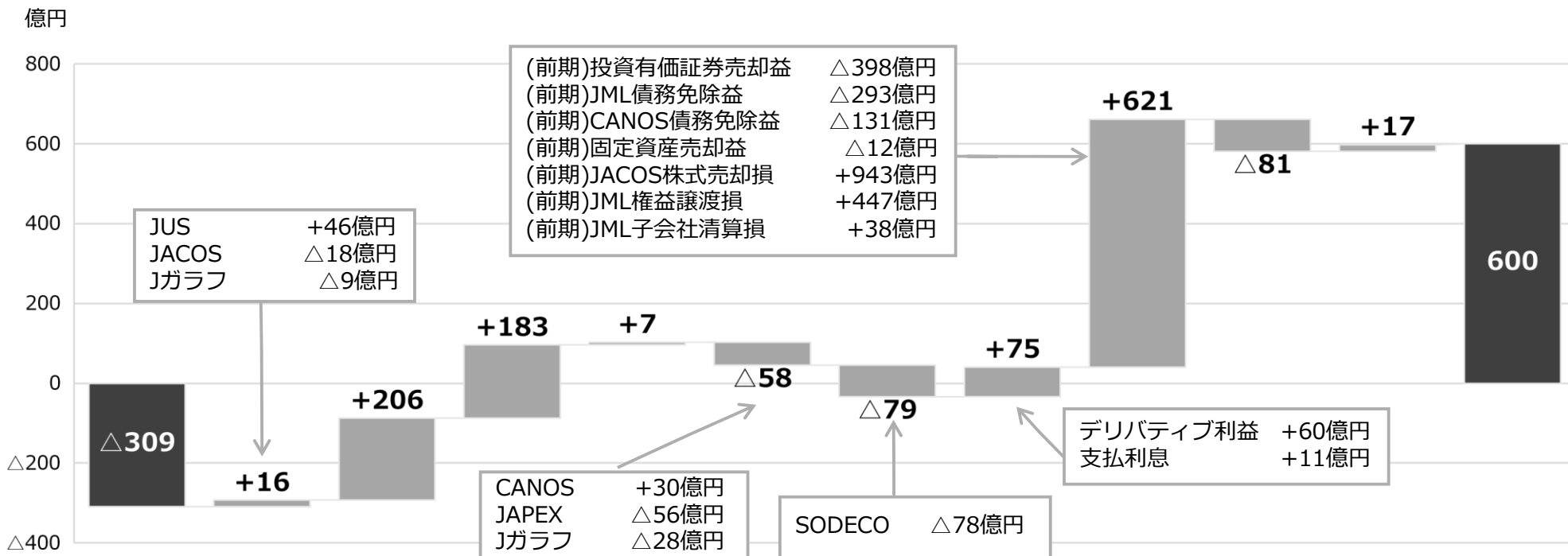
+7億円 (△65億円 → △58億円)

- 請負事業の増益など (+)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前期比】



純利益	営業利益* +414億円					営業外損益 △61億円			特別損益		法人税等	非支配株主利益	純利益
22年3月期 (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	今回予想 (f) 2.10公表		
22年3月期 (a)	26	201	35	△65	100	142	△3	△621	96	28			
今回予想 (f) 2.10公表	43	408	219	△58	41	62	72	△0	178	11			

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	22/3月期 (a)	23/3月期 (f)	
	通期	通期	
		11.10公表	2.10公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,052	86,200	94,329
減価償却費	17,721	13,351	13,529
生産物回収勘定の回収	17,780	18,286	17,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,067	△56,130	△50,644
有形固定資産の取得による支出	△16,278	△39,850	△36,118
生産物回収勘定の支出	△23,244	△32,252	△31,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,939	△14,526	△14,504
現金及び現金同等物の期末残高	144,513	160,056	173,693

有利子負債*1	6,156	10,457	10,457
EBITDA*2	57,391	70,914	87,603
EBITDA有利子負債倍率（倍）	0.1	0.1	0.1

*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

参考資料

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2023年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
6. 事業拠点および主要事業紹介
7. 統合報告書およびIR関連資料
8. 用語集

1. 売上高内訳：①E&P事業

金額：百万円	22/3月期 (a)			23/3月期 (a)				23/3月期 (f)		
	3Q	3Q累計	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期(f)	
									11.10公表	2.10公表
売上高	4,739	54,560	73,422	7,266	6,876	21,760	35,902	17,568	51,167	53,471
原油販売量 (千KL)	76	421	669	79	62	260	402	298	703	700
原油売上高	4,746	22,241	41,056	7,251	6,850	21,570	35,672	17,429	50,853	53,101
国産原油販売量 (千KL)	63	218	286	67	49	57	173	69	242	243
国産原油売上高	3,607	11,073	15,570	5,640	4,855	5,468	15,964	4,487	19,250	20,452
海外原油販売量 (千KL) *1	7	184	357	7	7	199	213	223	439	436
海外原油売上高	800	10,158	24,105	1,192	1,458	15,632	18,283	12,588	29,896	30,872
買入原油販売量 (千KL)	5	19	25	5	5	4	15	5	20	20
買入原油売上高	338	1,009	1,381	418	536	469	1,424	352	1,706	1,776
希釈ビチューメン販売量 (千KL)	-	959	959	-	-	-	-	-	-	-
希釈ビチューメン売上高 *2	-	31,121	31,121	-	-	-	-	-	-	-
天然ガス海外販売量 (百万M3) *3	0	129	130	0	0	3	5	6	13	12
天然ガス海外売上高	△7	1,197	1,244	14	25	189	230	140	314	370

WTI (USD/bbl)	69.85	64.06	64.06	94.41	108.65	91.76	98.27	82.85	94.33	94.42
原油CIF (USD/bbl) *4	77.30	70.28	73.28	101.55	115.31	105.93	106.81	70.00	93.04	96.24
為替 (円/USD) *4	111.69	109.96	111.20	122.50	133.58	143.32	132.69	130.00	128.59	132.13
希釈ビチューメン *2 (USD/bbl)	51.26	46.90	46.90	-	-	-	-	-	-	-
JML天然ガス *5 (CAD/mcf)	-	-	2.96	-	-	-	-	-	-	-

*1 22/3月期は海外連結子会社株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期は株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティ控除後

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

*4 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

*5 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格 (ロイヤリティ控除後)

1. 売上高内訳：②インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

金額：百万円	22/3月期 (a)			23/3月期 (a)				23/3月期 (f)		
	3Q	3Q累計	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期(f)	
									11.10公表	2.10公表
売上高	32,782	79,165	119,845	36,009	40,770	64,968	141,748	66,338	191,034	208,087
天然ガス国内販売量 (百万M3)	271	727	1,061	231	214	245	692	307	1,012	999
天然ガス国内売上高	14,897	36,135	58,024	17,923	18,043	26,659	62,625	34,458	89,894	97,084
国産天然ガス販売量 (百万M3)	135	368	527	109	101	112	324	146	483	470
液化天然ガス販売量 (千トン)	120	217	295	49	44	119	213	130	349	344
液化天然ガス売上高	8,636	16,822	22,596	6,062	7,424	21,391	34,877	13,875	41,804	48,752
電力販売量 (百万kWh)	635	2,241	3,023	665	787	693	2,146	778	3,031	2,925
電力売上高	7,658	22,656	34,320	10,986	14,265	15,591	40,843	15,624	53,304	56,467
その他*	1,590	3,550	4,903	1,037	1,037	1,326	3,400	2,380	6,032	5,781

* 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

2. 損益の状況

	単位：百万円		22/3月期 (a)			23/3月期 (a)				23/3月期 (f)	
	3Q	3Q累計	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期(f)		
									11.10公表	2.10公表	
売上高	52,856	171,364	249,140	58,617	62,091	104,396	225,105	101,574	304,563	326,679	
E&P事業	4,739	54,560	73,422	7,266	6,876	21,760	35,902	17,569	51,167	53,471	
インフラ・ユーティリティ事業	32,782	79,165	119,845	36,009	40,770	64,968	141,748	66,338	191,034	208,087	
その他	15,334	37,638	55,872	15,341	14,444	17,667	47,454	17,666	62,360	65,120	
売上原価	44,130	136,853	199,237	41,920	44,807	74,488	161,216	69,683	227,388	230,899	
売上総利益	8,726	34,511	49,903	16,696	17,283	29,907	63,888	31,891	77,174	95,779	
探鉱費	101	353	359	97	1,042	860	2,000	1,425	3,057	3,425	
販管費	6,516	22,508	29,734	6,788	6,746	9,609	23,145	7,957	28,875	31,103	
営業利益	2,108	11,649	19,809	9,810	9,494	19,438	38,742	22,508	45,242	61,250	
営業外損益	3,075	12,884	23,864	12,789	10,989	△ 4,643	19,136	△ 1,422	21,709	17,714	
受取利息	76	164	266	149	257	342	749	246	775	995	
支払利息	59	△ 1,246	△ 1,187	△ 1	△ 1	-	△ 3	△ 6	△ 28	△ 9	
受取配当	68	2,255	4,049	47	1,603	67	1,719	1,754	3,510	3,473	
持分損益	2,995	9,466	14,226	5,988	696	49	6,734	△ 452	6,348	6,282	
海投損繰入・戻入	85	263	66	-	-	△ 44	△ 44	△ 3	△ 83	△ 47	
為替差損益	1,158	5,100	10,002	6,748	2,428	△ 4,312	4,864	△ 669	6,086	4,195	
その他	△ 1,368	△ 3,118	△ 3,559	△ 142	6,004	△ 744	5,117	△ 2,292	5,100	2,825	
経常利益	5,183	24,533	43,674	22,600	20,483	14,794	57,878	21,086	66,951	78,964	
特別損益	41,526	△ 97,138	△ 62,175	△ 1	△ 14	△ 11	△ 27	△ 9	△ 71	△ 36	
税金等調整前当期純利益	46,710	△ 72,604	△ 18,501	22,598	20,469	14,783	57,851	21,076	66,880	78,928	
法人税等	11,227	10,743	9,652	5,304	3,665	4,520	13,490	4,323	11,026	17,814	
非支配株主に帰属する当期純利益	864	1,708	2,835	1,653	1,013	△ 1,593	1,074	39	2,853	1,114	
親会社株主に帰属する当期純利益	34,619	△ 85,057	△ 30,988	15,640	15,790	11,856	43,286	16,713	53,000	60,000	

3. セグメント損益

単位：百万円		22/3月期 (a)			23/3月期 (a)				23/3月期 (f)		
		3Q	3Q累計	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期(f)	
										11.10公表	2.10公表
日本	営業利益	4,223	15,158	24,739	11,472	11,215	19,702	42,391	23,052	48,557	65,443
	持分法投資利益	△ 73	49	△ 47	291	24	124	440	△ 80	509	359
北米	営業利益	△ 34	1,702	1,789	227	320	2,370	2,918	1,912	4,206	4,831
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	営業利益	△ 27	△ 108	△ 151	△ 33	△ 55	△ 29	△ 118	△ 55	△ 187	△ 173
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中東	営業利益	243	1,457	2,644	522	611	△ 8	1,125	568	2,952	1,693
	持分法投資利益	△ 2	△ 8	△ 13	△ 3	△ 3	△ 2	△ 9	2	△ 28	△ 6
その他 ^{*1}	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	3,071	9,425	14,287	5,699	675	△ 72	6,303	△ 373	5,868	5,929
調整額 ^{*2}		△ 2,296	△ 6,560	△ 9,213	△ 2,378	△ 2,598	△ 2,596	△ 7,574	△ 2,969	△ 10,286	△ 10,543
連結損益算書計上額 ^{*3} 営業利益		2,108	11,649	19,809	9,810	9,494	19,438	38,742	22,508	45,242	61,250

*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			（上段）2021年1月～2022年3月					通期
			（下段）2022年1月～2023年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
原油CIF (JCC) ^{*3}	USD/bbl	前期実績	-	64.25	71.31	77.30	82.70	73.28
		当期実績・前提	-	101.55^{*1}	115.31^{*1}	105.93^{*1}	70.00	96.24
WTI ^{*2}	USD/bbl	前期実績	58.10	66.07	69.85	-	-	64.06
		当期実績・前提	94.41^{*1}	108.65^{*1}	91.76^{*1}	82.85^{*1}	-	94.42
LNG（全日本CIF）	円/ト	前期実績	-	47,544	58,141	79,284	88,184	68,288
		当期実績・前提	-	101,863^{*1}	143,821^{*1}	131,646	97,267	118,649
為替 ^{*3}	円/USD	前期実績	-	108.43	109.96	111.69	114.52	111.20
		当期実績・前提	-	122.50^{*1}	133.58^{*1}	143.32^{*1}	130.00	132.13

*1 実績値

*2 前期はJapan Canada Oil Sands Limitedによる希釈ビチューメン販売（2021年1～8月の8か月分）にかかるWTI平均値

*3 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

5. 23年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	23/3月期 4Q前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	原油CIF価格 4Q : USD 70.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	11	6	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	130.00円/USD	1 円/USD の円安	110	60	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

【前提】

- ・ 持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・ 為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

6. 主要事業概況① 今期3Q以降の概況と主な動き

E&P分野

- 国内：北海道、秋田県、山形県、新潟県の油ガス田計10か所で原油・天然ガスを生産中／既存油ガス田の増産施策の検討継続
 - ・ 新潟県片貝ガス田の追加開発を実施中
 - ・ カーボンニュートラル対応に向けた、油ガス田操業でのGHG排出量削減策の検討や、CO₂貯留可能量調査などを実施
- 海外：原油・天然ガス開発生産プロジェクトに参画中／新規権益獲得検討継続
- 国内：新潟県・片貝ガス田周辺追加開発1坑目掘削中 ※1坑目生産開始は2023年後半予定、2坑目掘削は2023年中盤以降を予定
- 海外：英領北海・シーガルプロジェクト（開発中、2023年中盤生産開始予定）、アメリカ・タイトオイル開発（生産/開発中）、イラク・ガラフ油田（開発/生産中）

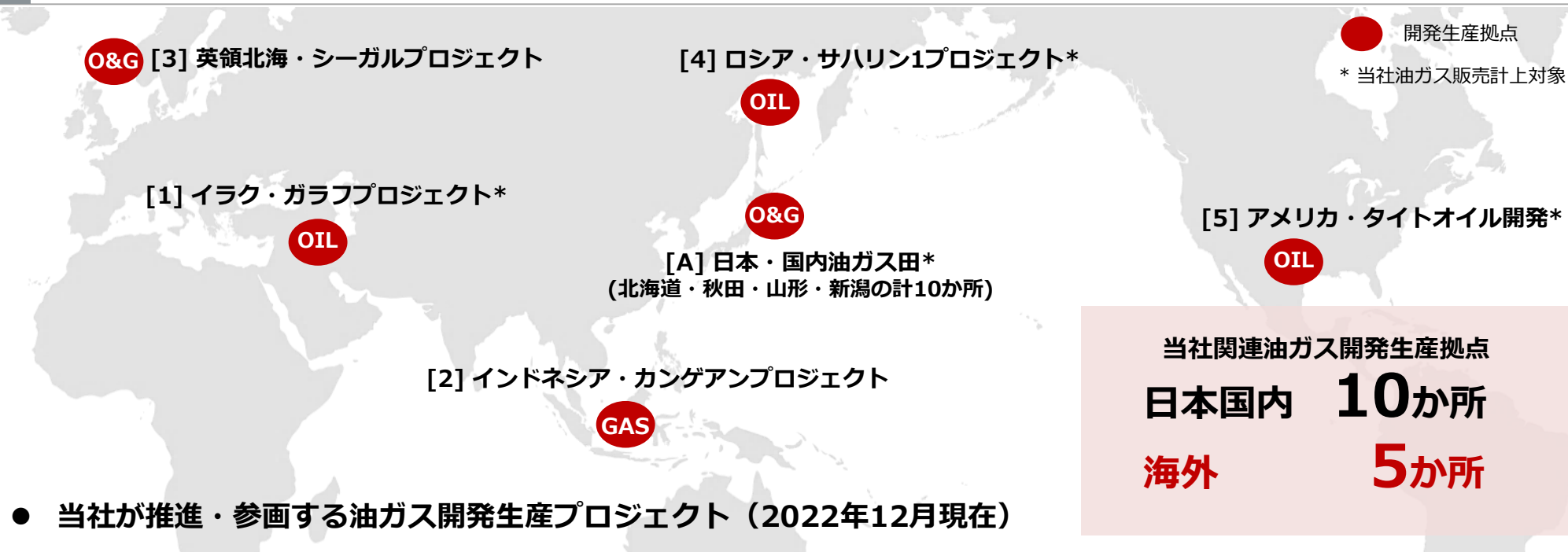
I/U分野

- 国内ガス供給：当社国内ガス供給ネットワークを通じた天然ガス・LNGの安定供給／燃料転換需要への対応を含むガス拡販対応継続中
 - ・ 相馬LNG基地（福島県相馬郡新地町）では、隣接する福島天然ガス発電所からの発電燃料LNG気化送出受託業務を実施中
- 海外LNG供給インフラ：天然ガス需要拡大が想定される東南アジアを中心に、LNG基地など供給インフラ開発・運用プロジェクトへの参入を検討
- 電力：稼働中発電所からの環境負荷の低い電力の安定供給／再生可能エネルギー開発・投資案件参画中および新規案件検討中
- 北海道・網走バイオマス発電所3号機建設中（2023年2月営業運転開始予定） ※同2号機は2022年10月営業運転開始済
- (その他建設中案件) 愛知県・田原バイオマス発電所、愛媛県・大洲バイオマス発電所、山口県・長府バイオマス発電所
- 茨城県・大洗港における商船三井グループフェリー向けLNG燃料供給に関する基本協定書を締結（2023年1月）

CN分野

- CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：CO₂の回収・貯留）/CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage：CO₂の回収・有効活用・貯留）の早期の実用化と事業化に向けた検討
- CCS/CCUSとの連携が期待できる、カーボンニュートラルに関する協業や参入の検討
 - ・ カーボンリサイクル実現など、CCS/CCUSとの組み合わせによる地域や産業間の連携などを視野
- (国内検討中案件) 北海道・苫小牧エリア、新潟東港エリアにおいて、複数のCN関連実現可能性調査を実施中
- (海外検討中案件) インドネシア、マレーシアにおいて実現可能性調査へ参加中
- 気候変動・環境問題特化型のベンチャーキャピタルファンド「ANRI-GREEN 1号」へ出資（12月）

6. 主要事業概況② E&P分野



● 当社が推進・参画する油ガス開発生産プロジェクト（2022年12月現在）

No.	油ガス田/プロジェクト名（オペレーター）	権益比率（当社Net）	生産種別	状況	生産量日量*1
A	日本・国内油ガス田（北海道・秋田・山形・新潟の10か所で当社が操業）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産中／追加開発中	非開示
1	イラク・ガラフプロジェクト（PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.）	30%（16.5%）	原油	生産中／追加開発中	13.3万bbl*2
2	インドネシア・カンゲアンプロジェクト（Kangean Energy Indonesia Ltd.）	100%（25%）	天然ガス	生産中	364万m ³ （2.2万boe）
3	英領北海・シーガルプロジェクト（Neptune E&P UK Limited）	15%（15%）	原油・天然ガス	開発中	-
4	ロシア・サハリン1プロジェクト（Sakhalin-1 Limited Liability Company: S1LLC）	30%（4.59%）*3	原油	生産・開発中	非開示
5	アメリカ・タイトオイル開発（Marathon Oil Corporation、EOG Resources Inc.ほか）	権益により異なる	原油	生産・開発中	非開示

*1: 2022年度3Q累計（海外プロジェクトは2022年1～9月）の日量生産量平均。

*2: 2022年4～12月の日量生産量平均。

*3: 2022年11月のロシア政府令によりサハリン石油ガス開発株式会社（SODECO）のS1LLC持分30%引受承認。

6. 主要事業概況③ I/U分野 – ガス供給

JAPEXの国内天然ガス供給ネットワークの特色

総延長**800**km超の高圧ガスパイプライン網

外航船受入に対応するLNG基地**2**か所

日本海側-太平洋側双方からのガス供給が可能

● **国内ガス供給**

- パイプラインによる国産ガス・LNG気化ガス供給
- LNGの受入・貯蔵・気化・送出
- LNGサテライト輸送（専用ローリー、鉄道タンクコンテナ、内航船）
- 当社ガス導管・LNG基地の第三者利用・受託業務など

● **国内ガス供給の多様化対応**

- 他の化石燃料からガスへの燃料転換対応
- 都市ガス会社と連携したエネルギーサービスの提案・提供

● **LNG調達**

- タームとスポットを組み合わせた競争力のあるLNG調達

● **海外LNG供給インフラ**

- ガス需要が旺盛な東南アジアを中心とする、新規案件立ち上げなど
 - ✓ 事業化検討中：ベトナム北部LNG基地プロジェクト



6. 主要事業概況④ I/U分野 – 電力

拠点合計 **7**か所 出力合計 **1,389,550kW**
 うち再エネ **6**か所 うち再エネ **209,550kW**
*出力合計値はGross

● 当社が開発・運営に参画する発電所（2023年1月末現在）

No.	名称	所在地	種別	出力合計 (kW)	当社比率	状況
A	福島天然ガス発電所	福島県相馬郡新地町	ガス (LNG)	118万	33%	稼働中
1	網走バイオマス発電所2号機・3号機	北海道網走市	バイオマス (木質チップ)	1.98万	33.8%	稼働中 ^(2号機) 建設中 ^(3号機)
2	JAPEX北海道事業所メガソーラー	北海道苫小牧市	太陽光	0.18万	100%	稼働中
3	勇払太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	20%	稼働中
4	田原バイオマス発電所	愛知県田原市	バイオマス (木質ペレット)	5万	39.9%	建設中
5	大洲バイオマス発電所	愛媛県大洲市	バイオマス (木質ペレット)	5万	35%	建設中
6	長府バイオマス発電所	山口県下関市	バイオマス (木質ペレット)	7.495万	39.9%	建設中

● その他再エネ関連への参画

- PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合 (非FITを含む太陽光発電プロジェクトを対象に最大100億円を投資するファンドへの参画、当社出資比率50%)

[1] 網走バイオマス発電所 **BIO**
2号機・3号機

[2] JAPEX北海道事業所
メガソーラー* **PV**

[3] 勇払太陽光発電所 **PV**



LNG [A] 福島天然ガス発電所*



[5] 大洲バイオマス発電所 **BIO**

[4] 田原バイオマス発電所 **BIO**

[6] 長府バイオマス発電所 **BIO**

● ガス発電所

■ 再エネ発電所

* 当社電力販売対象

6. 主要事業概況⑤ CN分野

● ハブ&クラスター型CCS/CCUSの実現に必要な要素

技術の検証・確立

- CO₂貯留適地・貯留可能量調査
- CO₂回収・輸送技術
- CO₂圧入・貯留技術
 - ・ 貯留CO₂モニタリング技術を含む

+

企業間・業種横断的な連携

- CO₂排出元からの回収
- CO₂輸送ネットワーク構築
 - ・ 利活用先への輸送と余剰分回収
- 余剰CO₂の地中貯留

+

法制度などの検討・整備

- CO₂地中貯留に関する法制度
- CO₂輸送インフラのあり方 (公共性)
- CO₂取引制度
 - ・ 海外とのCO₂取引の連携も視野

● 当社が推進・参加する主なCCS/CCUS関連の取り組み (2023年1月末現在)

国内 2030年度までにハブ&クラスター型モデル事業確立

- 当社における検討
 - ✓ 当社油ガス田などのCO₂貯留可能量調査
 - ✓ 当社油ガス田操業における随伴CO₂の再圧入検討
- 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討
 - ✓ 北海道・苫小牧エリアにおけるCCUS事業実現可能性検討 (出光興産・北海道電力との共同実施)
 - ✓ 北海道・苫小牧エリアにおける産業間連携カーボンリサイクル事業実現可能性調査 (NEDO受託事業：デロイト トーマツコンサルティング(同)との共同実施)
 - ✓ 新潟エリアにおけるCO₂を有効活用した事業の可能性検討 (三菱ガス化学(株)との共同検討)
 - ✓ 新潟東港エリアにおけるCCUSハブ&クラスター事業実現可能性調査実施 (令和4年度JOGMEC受託事業)

海外 制度先進国案件での早期収益貢献&新興国検討案件

- 当社における検討
 - ✓ 北米やヨーロッパなどの制度先進国における、CCS/CCUS案件への参画検討
- 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討
 - ✓ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討 (ブルタミナグループおよびレミガスとの共同実施)
 - ✓ マレーシアにおけるCCS共同スタディ：CO₂地中貯留の実施を視野にした適地調査や技術的な検討などを実施 (ペトロナス、ならびに日揮グローバル(株)、川崎汽船(株)との共同実施、日本3社コンソは令和4年資源エネルギー庁補助金事業に採択)

共通 技術その他関連検討

- ✓ CN社会実現に向けたエネルギー輸送・供給インフラの技術課題検討 (JFEエンジニアリング(株)との共同検討)

7. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内

当社の統合報告書およびIR関連資料は、当社ウェブサイトの以下のリンクからご覧いただけます。

統合報告書

◆ 統合報告書



<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

最新号（統合報告書2022、2022年9月発行）は、
以下のリンクから直接ご覧いただけます

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX_IR2022_j.pdf

開示資料アーカイブ

◆ 決算短信

<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>

◆ 決算説明資料

<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

◆ 有価証券報告書・四半期報告書

<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>

業績情報など

◆ 業績ハイライト（過去5期分） ※過去10年分CSVデータダウンロード

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/pl/>

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx

◆ 株主還元（配当の推移）

<https://www.japex.co.jp/ir/stock/dividend/>

8. 用語集

■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル（日量）
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
E&P	Exploration and Production	石油・天然ガスの探鉱、開発・生産を行う事業
FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
JEPX	Japan Electric Power Exchange	一般財団法人日本卸電力取引所
MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

■ 主要な子会社・持分法適用会社

Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
DGN	Diamond Gas Netherlands B.V.	マレーシアLNG ティガプロジェクト
FGP	福島ガス発電（株）	天然ガス火力発電事業

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています。
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111

JAPEX

石油資源開発株式会社